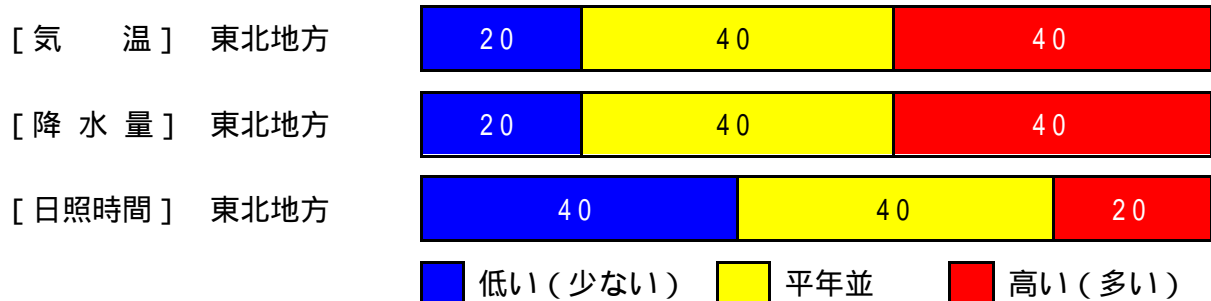


東北地方 1 か月予報の解説（予報期間：6 月 30 日～7 月 29 日）

平成 13 年 6 月 29 日 仙台管区气象台

1．向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（％）



[気 温]: 東北地方は「平年並」か「高い」の可能性が大きく、その確率はそれぞれ 40％です。「低い」の可能性は 20％と小さい。

[降 水 量]: 東北地方は「平年並」か「多い」の可能性が大きく、その確率はそれぞれ 40％です。「少ない」の可能性は 20％と小さい。

[日照時間]: 東北地方は「平年並」か「少ない」の可能性が大きく、その確率はそれぞれ 40％です。「多い」の可能性は 20％と小さい。

2．予想される天候の特徴

（もっとも高い確率の予報が実現した場合の天候は以下の通りです。）

向こう 1 か月

高気圧に覆われ晴れて暑い日もありますが、梅雨前線や低気圧の影響を受け、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。また、後半はオホーツク海高気圧の影響で、一時気温が低くなる所がある見込みです。

平均気温は平年並か高いでしょう。

向こう 28 日間の平年の晴れ日数：東北地方で約 12 日

各予報期間の天候の特徴

1 週目…………… 期間の中頃はおおむね晴れますが、その他の日は梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は高いでしょう。

平年の晴れ日数：東北地方で約 3 日

2 週目…………… 梅雨前線や低気圧の影響を受けやすく、曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

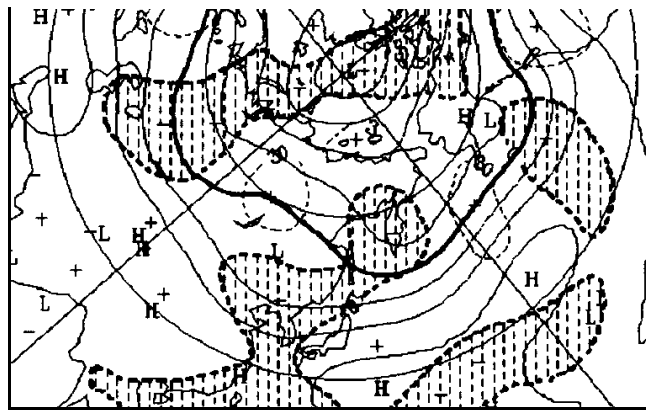
平年の晴れ日数：東北地方で約 2 日

3～4 週目…………… 太平洋高気圧に覆われ晴れて暑い日もありますが、梅雨前線や低気圧の影響を受け曇りや雨の日が多いでしょう。オホーツク海高気圧の影響で一時気温が低くなる所がある見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

平年の晴れ日数：東北地方で約 7 日

予想される天候に関する循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）

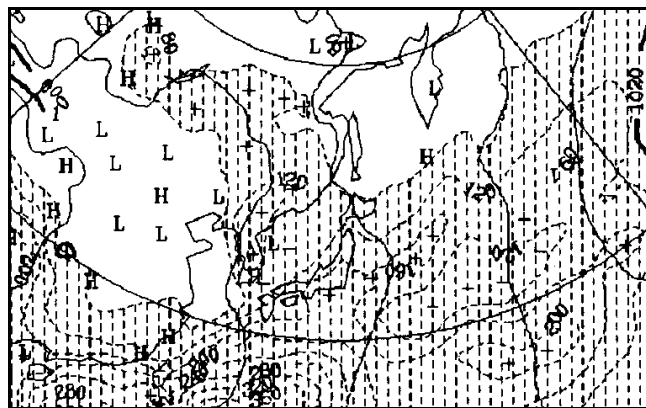


月平均の 500hPa 高度・偏差
(等高度線：60m 毎、偏差：30m 毎、陰影部：負偏差)

・ 500hPa 高度・偏差

月平均で見ると、日本付近は東海上にかけての正偏差域に覆われる。一方、カムチャッカ半島付近から北海道、朝鮮半島から南西諸島付近までは負偏差となり、流れはやや西谷。

週別（図略）では、1 週目日本付近は正偏差で、太平洋高気圧は西への張り出しが強い。2 週目は大陸から日本付近まで負偏差に覆われる。太平洋高気圧は日本付近では勢力は弱まるが、日本の東で北へ張り出すため日本付近は強い西谷となり、低気圧の影響を受けやすい。3～4 週目は日本付近ほぼ正偏差で、太平洋高気圧も勢力を強める。

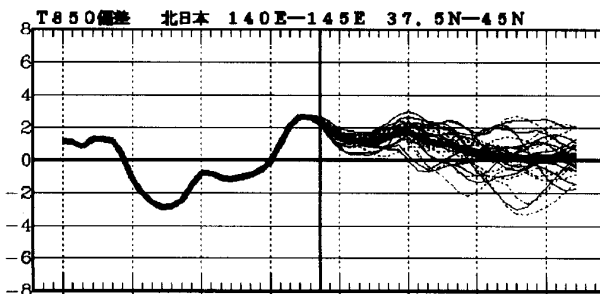


月平均の地上気圧と降水量
(等圧線：4hPa 毎、降水量：40mm 毎、陰影部：80mm 以上)

・ 地上気圧と降水量

月平均で見ると、日本付近は広く降水域に覆われる。太平洋高気圧の西への張り出しは弱い。また、日本の南海上には熱帯擾乱（台風など）に対応すると考えられる降水域が広がる。

週別（図略）では、1 週目は太平洋高気圧の勢力が強まり、梅雨前線に対応する降水域は本州付近に広がるが弱い。2 週目は、日本付近は梅雨前線や低気圧に対応した降水域に覆われる。3～4 週目はオホーツク海高気圧もやや顕著となり、日本海にかけ高圧部。日本の南海上は強い降水域があるが、熱帯擾乱の可能性もあり不確実。



北日本 850hPa の気温平年差の実況と予想

(縦軸：気温平年差 (°C) 横軸：日付)

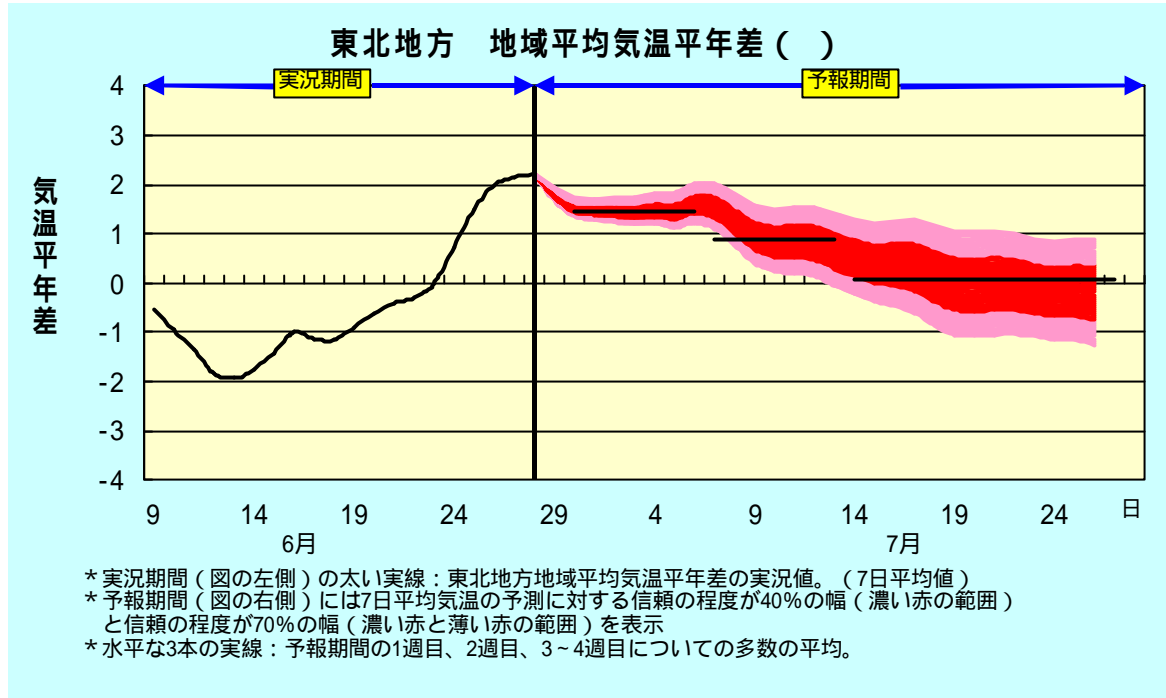
発表日以降の太線は各アンサンブルメンバー（細線）の平均値

・ 北日本 850hPa 気温平年差の時系列

アンサンブルメンバーの平均は、1 週目は高めだが、2 週目以降は徐々に下がり、3～4 週目に平年並となる。ただし、2 週目の後半からは平年を下回るメンバーもある。

3．東北地方地域平均気温平年差の実況と予測結果

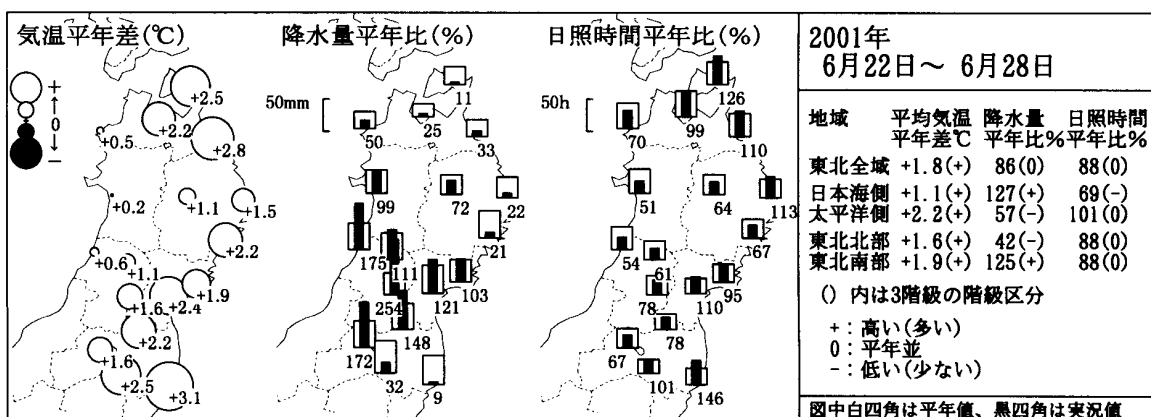
週別の気温は、1週目「高い」、2週目「高い」、3～4週目「平年並」を予測している。2週目は、太平洋高気圧の勢力が弱まり、天気もぐずつく予想から「平年並」に修正する。なお、予報の信頼度は大きい。



4．最近1週間（6月22日～6月28日）の天候の経過

移動性高気圧に覆われ晴れる日もあったが、低気圧や梅雨前線の影響を受け曇りや雨の日が多かった。25日は台風第2号から変わった低気圧の影響で、東北南部では大雨となるところもあった。

平均気温は、東北地方で平年差+1.8 と高かった。降水量は、東三陸で平年比 42%と少なく、東北南部で平年比 125%と多かった。日照時間は、東北日本海側で平年比 69%と少なかったが、東北太平洋側で平年比 101%と平年並だった。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）